

2023年 第1回

定例会報告



広瀬知事

「やり残しのないよう、
豪雨で被災した地域の復興
子どもの居場所づくり
先端技術の活用などに注力」

2023年第1回定例会行われる

2月27日(月)から3月17日(金)にかけて大分県議会2023年第1回定例会が開催されました。

人件費など恒常的に支出が必要な義務的経費と、22年度からの継続事業が中心となるいわゆる「骨格予算」として総額6,773億5,200万円の予算案が上程。これは、2022年度に比べて404億8,900万円(5.6%)の減であるものの、広瀬県政で3番目に大きい規模です。

歳入では、県税や国からの地方交付税は増える見通しで、貯金に相当する財政調整用基金は50億円を取り崩し、残高は2023年度末で約286億円の見込みとなります。また、借金に当たる県債残高のうち、交付税措置のある臨時財政対策債を除いた実質的残高は約6,063億円で、行革推進計画の目標である6,500億円以下を維持しています。

例年、政策的な事業は予算特別枠として上程されていますが、今年度は新知事のもと6月に開催される第2回定例会において、「肉付け予算」として補正案が上程されることとなります。

また、予算外議案では、幼児の通園バスで点呼等による所在確認やブザー等の見落とし防止装置の設置を義務づける児童福祉施設の基準を定める条例の一部改正案、自転車通学生のヘルメット着用の努力義務を全ての自転車利用者に拡大する道路交通法を踏まえた関連条例の一部改正案などが上程され、最終日に全て可決されました。



2023年度の 新規事業を紹介

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策のほか、先端技術の活用や子ども・子育て支援、防災・減災対策といった喫緊の課題に対応するため、より早期の効果発現が求められる新規事業が提案されました。

その中から、分野別に特徴的な新規事業(赤字で表記)を紹介します。黒字は継続事業ですが、一部新規事業が含まれています。

緑字は県下6カ所ある振興局枠「地域課題対応枠事業」(7つの新規事業を含め19事業・8,450万円)です。地域課題対応枠事業は3年を目安として事業展開されます。

() は予算額

【福祉・子育て支援】

昨年度から始まったヤングケアラー等支援体制強化事業(2,772万円)の中で、**新規事業として市町村等を支援する専門アドバイザーの配置**を進めます。これは、戸別訪問による家庭状況の把握等を行う14の市町村へ助成するものです。

妊娠届出時からの伴走型相談支援を行う**伴走型出産・子育て応援事業(10億2,738万円)**では、新たに**妊娠届出時に5万円、出生届出時に新生児1人あたり5万円を給付**します。

【医療】

2024年からは医師にも時間外労働規制が適用されるため、**医療機関の働き方改革推進事業(1,796万円)**では特定行為看護師などに医師の業務の一部を任せる業務移管(タスクシフト)など働き方改革を支援します。

循環器病対策推進事業(1,021万円)は、健康寿命の延伸を図るため、主要死亡原因である脳血管疾患や心疾患などの循環器病対策を行います。

【エネルギー・脱炭素社会実現】

産業界の脱炭素化の動きに対応する「グリーン・コンビナートおおいた」の実現を目指すため、**グリーン・コンビナートおおいた創出事業(4,104万円)**では次世代エネルギーや炭素循環マテリアル等の拠点化に向けた調査や企業間連携プロジェクト案の編成等に取り組みます。

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いしています。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市社園町3組2 原田たかし事務所内

私のHPにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

セキュリティ強化のため、HPのアドレスが変わりました

大分県議会議員 原田たかし

Q 検索

<https://harada-oitakengi.com/>

